



# 大府市防災家庭版マニュアル

## -地震版-

災害時の不安が多数ある中、家族で話し合うツールとして、発災後の動きや災害時の対応、事前準備など自助を高めるためのきっかけとしてご活用ください。

日頃の備えをチェックしよう！

### 災害用伝言ダイヤル171

災害発生時に被災地への通信が繋がりにくい状況になった場合、安否情報などを録音・再生できるボイスメールとして利用できます。

録音時間は1伝言30秒以内。伝言登録数は1つの番号あたり1～20件。

※登録出来る伝言数を超えると、古い伝言から削除されます

災害時にスムーズにやり取りするために、あらかじめ家族でどの電話番号を登録するか決めておくことをおすすめします。N T T各社では、災害時以外にも災害用伝言ダイヤル171を体験できるように「体験利用日」が設定されています。（毎月1日と15日、1月1日～1月3日、防災週間8月30日～9月5日、防災とボランティア週間1月15日～21日）インターネットで使える災害用伝言版（web171）もあります。

#### 伝言を残す（録音）

- 「171」にダイヤル→音声ガイダンス
- 「1」を押す→音声ガイダンス
- 自宅（市外局番から）や携帯番号を入力
- 録音する（30秒以内）

#### 伝言を聞く（再生）

- 「171」にダイヤル→音声ガイダンス
- 「2」を押す→音声ガイダンス
- 伝言を聞きたい電話番号を入力
- 再生する

●家族で登録する番号 ⇒ \_\_\_\_\_



災害用伝言ダイヤル171/  
災害用伝言版web171  
(N T T西日本)



公衆電話 設置場所検索  
(N T T西日本)

●自宅近く⇒ \_\_\_\_\_

### 避難

地震が発生した時はまず自分の身を守り、自宅の安全が確認できれば可能な限り自宅での避難をお勧めします。

（建物の安全点検などで避難所開設に時間を要する場合があります）

自宅で避難生活を送っていても、避難所に行き登録を行った上で支援物資を受け取る事が可能です。

また、要支援者（高齢や障がいなどの理由で福祉的な配慮を必要とする方）のために開設される福祉避難所についても日頃から情報を確認しておきましょう。



福祉避難所



大府市自立支援協議会 こども部会作成  
(令和7年12月版)

<p><b>自宅や周辺の危険度</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 自宅が現在の耐震基準を満たしている。 ※昭和56年（1981年）6月1日以降に建築または耐震化工事を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅周辺や移動途中に倒壊の恐れがある建造物がない、またはある場所を把握している。</p>	
<p><b>避難場所</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 災害が発生した時、自宅以外で家族が落ち合う避難場所 ⇒ _____</p> <p><b>メモ</b> (例) 要配慮者はいるか・ペットはどうするか [ _____ ]</p>	
<p><b>非常用持ち出し品 (一例)</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 食料品 <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 常備薬【期限：____年 月 / ____日分】 <input type="checkbox"/> お薬手帳（薬剤情報）のコピー <input type="checkbox"/> 日用品（歯ブラシ等）<input type="checkbox"/> 貴重品 <input type="checkbox"/> 小銭 <input type="checkbox"/> 簡易食器（紙コップ・割りばし・ストロー等） <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 懐中電灯、ランタン、マッチ <input type="checkbox"/> 燃料（卓上コンロ、ガスボンベ等） <input type="checkbox"/> 生理用品またはオムツ <input type="checkbox"/> 救急セット（消毒液、ガーゼ、包帯、絆創膏、マスク）</p>	<p><input type="checkbox"/> 非常用持ち出し袋の置き場所 ⇒ _____</p>  <p>参考↑『東京備蓄ナビ』 (日常備蓄に関するサイト)</p>
<p><b>確認しておくこと (一例)</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 家庭内の災害時の連絡方法や集合場所を確認する <input type="checkbox"/> 家具の転倒・落下防止対策をする <input type="checkbox"/> ハザードマップで危険地域を確認する <input type="checkbox"/> 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画作成 <input type="checkbox"/> 防災関連のホームページ閲覧・アプリの登録 (情報収集)</p> <p>(その他) <input type="checkbox"/> _____</p> <p><b>Android端末未用↓</b>  <b>iPhone端末未用↓</b>  参考：防災情報アプリ『おおぶ防災行政ナビ』</p>	

※災害時に避難がしやすいように中身は重くなり過ぎず、袋に入れる順番や詰め方を考えてみましょう。



【その他】

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

地震発生

もしも平日の昼間、家族がそれぞれ違う場所にいる時に地震が起きたら・・・  
どのように家族と連絡を取りますか？連絡手段や家族それぞれの状況を書き込み、  
災害時を想定しながら家族と一緒に話をしてみましょう！



家族全員が家にいる場合

家族が離れている場合

私と家族の行動

あわてずに行動する

- 家族の安全を確認
- 火の始末をする
- 余震に注意する

- 家を出るときはガスの元栓を閉めブレーカーを落とす
- 自宅近くの一時的避難場所に行く
- 自宅が安全であれば、在宅避難

- 在宅避難時に物資や食べ物が必要な場合は、避難所で避難者登録をする必要がある
- 家族の体調管理をする
- 体調に心配がある時の相談先  
⇒ \_\_\_\_\_  
⇒ \_\_\_\_\_  
(例) かかりつけの病院  
薬局など

●氏名 _____ ●連絡先 _____ ① _____ ② _____					
---	---	---	---	---	---

【日中いる場所】 ① _____ TEL : _____ 他 : _____					
② _____ TEL : _____ 他 : _____					
③ _____ TEL : _____ 他 : _____					
【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分

【発災後の集合場所】 ※具体的に

① 自宅      ② \_\_\_\_\_      ③ \_\_\_\_\_

●メモ

【連絡手段】

- 通話 (携帯電話)
- 通話 (公衆電話)
- LINE
- メール
- SNSのDM
- 災害用伝言ダイヤル「171」  
※裏表紙参照
- その他⇒ \_\_\_\_\_

●メモ

●自由記述 (例) 家族と全く連絡取れなかった場合は？ お迎えが必要な時は、どこに誰が行く？